

一般社団法人熊本市医師会

令和2年度 事業報告

I 法人の概要

1. 設立年月日

昭和22年11月13日

平成25年4月1日（一般社団法人へ移行）

2. 定款に定める目的

本社団法人は、医道の高揚、医学及び医術の発達並びに公衆衛生の向上を図り、もって社会福祉を増進することを目的とする。

3. 定款に定める事業内容

- ①医道の高揚に関する事項
- ②医学教育の向上に関する事項
- ③医師の生涯研修に関する事項
- ④医学、医療の国際交流に関する事項
- ⑤公衆衛生の指導啓発に関する事項
- ⑥地域医療の推進発展に関する事項
- ⑦地域保健の向上に関する事項
- ⑧保険医療の充実に関する事項
- ⑨医療施設の整備に関する事項
- ⑩会員の相互扶助に関する事項
- ⑪医業経営の安定、会員の福祉向上による市県民の健康及び福祉の増進に関する事項
- ⑫医師会相互の連絡調整に関する事項
- ⑬看護師、准看護師その他の医療従事者の養成及び生涯教育に関する事項
- ⑭熊本市医師会看護専門学校の運営に関する事項
- ⑮熊本市医師会熊本地域医療センター（医師会病院、検査センター、ヘルスケアセンター、在宅ケアセンター）の運営に関する事項
- ⑯その他本会の目的を達成するために必要な事項

4. 所管官庁に関する事項

熊本県健康福祉部医療政策課

5. 会員の状況

区分	当期末	前期末比増減
A会員（開業医師）	584名	+14名
B会員（勤務医師）	821名	+15名
C会員	52名	+2名
合計	1,457名	+31名

6. 主たる事務所

熊本県熊本市中央区本荘3丁目3番3号

7. 役員に関する事項

令和3年3月31日現在

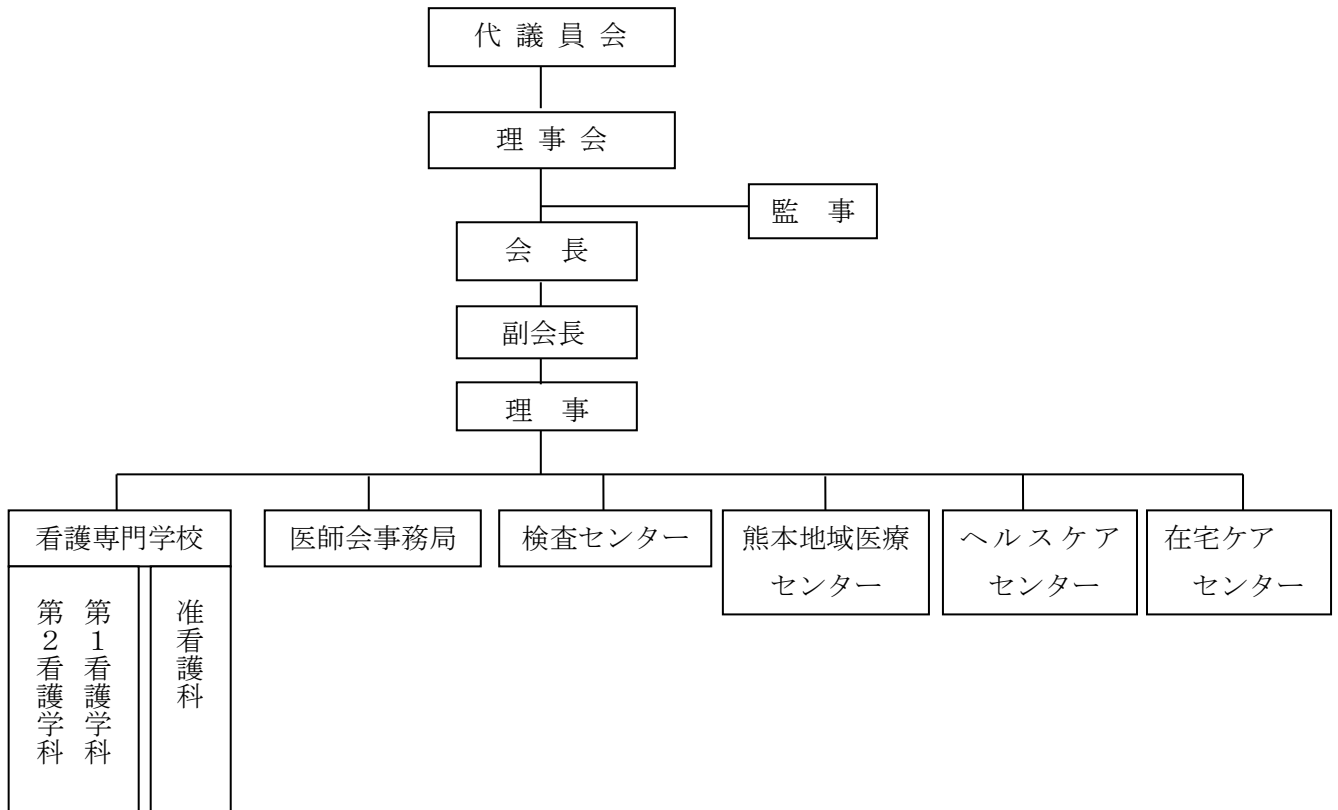
役職	氏名	主たる担当職務
会長	園田 寛	
副会長	濱田 泰之	総務(学術、勤務医部)、看護専門学校長、ヘルスケアセンター全般
副会長	田中 英一	総務(医師会病院建設、地域包括ケアシステム、在宅医療)、在宅ケアセンター全般、検査センター全般
副会長	前田 篤志	総務、医師会病院全般
理事	緒方 武幸	会計
理事	宮本 大典	医師会病院庶務
理事	井 重博	庶務、会員福祉
理事	家村昭日朗	保険、検査センター庶務
理事	田嶋 哲	医療情報、看護専門学校会計、第2看護学科
理事	魚返 英寛	学術、看護専門学校庶務、第1看護学科
理事	野津原 昭	介護保険、地域医療、地域包括ケアシステム、在宅医療
理事	高群 博之	勤務医部、ヘルスケアセンター会計
理事	柏木 孝史	検査センター会計、学校検診
理事	杉野 茂人	学校保健、社会福祉、医師会病院建設
理事	冬田 修平	在宅ケアセンター庶務
理事	宇野 正志	広報、国際交流
理事	清原 英雄	救急・災害医療
理事	緒方 一朗	在宅ケアセンター会計、ヘルスケアセンター庶務
理事	高野 正太	看護専門学校准看護科、医師会病院会計
理事	池上あずさ	会員福祉(副)、学術(副)
理事	玉野井優水	庶務(副)
監事	関 義憲	
監事	松下 和孝	
監事	倉富 明彦	

8. 職員に関する事項

令和3年3月31日現在

部署	正規職員		嘱託職員		臨時・パート・非常勤		総計		
	男	女	男	女	男	女	男	女	合計
法人事務局	6	7	2	1	2	10	10	18	28
看護専門学校	2	31		2		3	2	36	38
検査センター	14	25	4		5	45	23	70	93
病院	94	262	6	2	10	36	110	300	410
ヘルスケアセンター	13	15	5		4	27	22	42	64
在宅ケアセンター	2	6	1	1	1	22	4	29	33
合計	131	346	18	6	22	143	171	495	666
	477		24		165		666		

9. 組織図



10. 施設の設置状況

施設の名称	所在地
熊本市医師会事務局	熊本市中央区本荘3丁目3番3号
看護専門学校	熊本市中央区本荘3丁目3番3号
検査センター	熊本市中央区本荘5丁目15番12号
熊本地域医療センター(病院)	熊本市中央区本荘5丁目16番10号
ヘルスケアセンター	熊本市中央区本荘5丁目15番12号
在宅ケアセンター 訪問看護ステーション 訪問介護ステーション 居宅介護支援事業所 地域包括支援センター	熊本市中央区本荘5丁目16番10号 熊本市中央区本荘4丁目1番3号

11. 許認可に関する事項

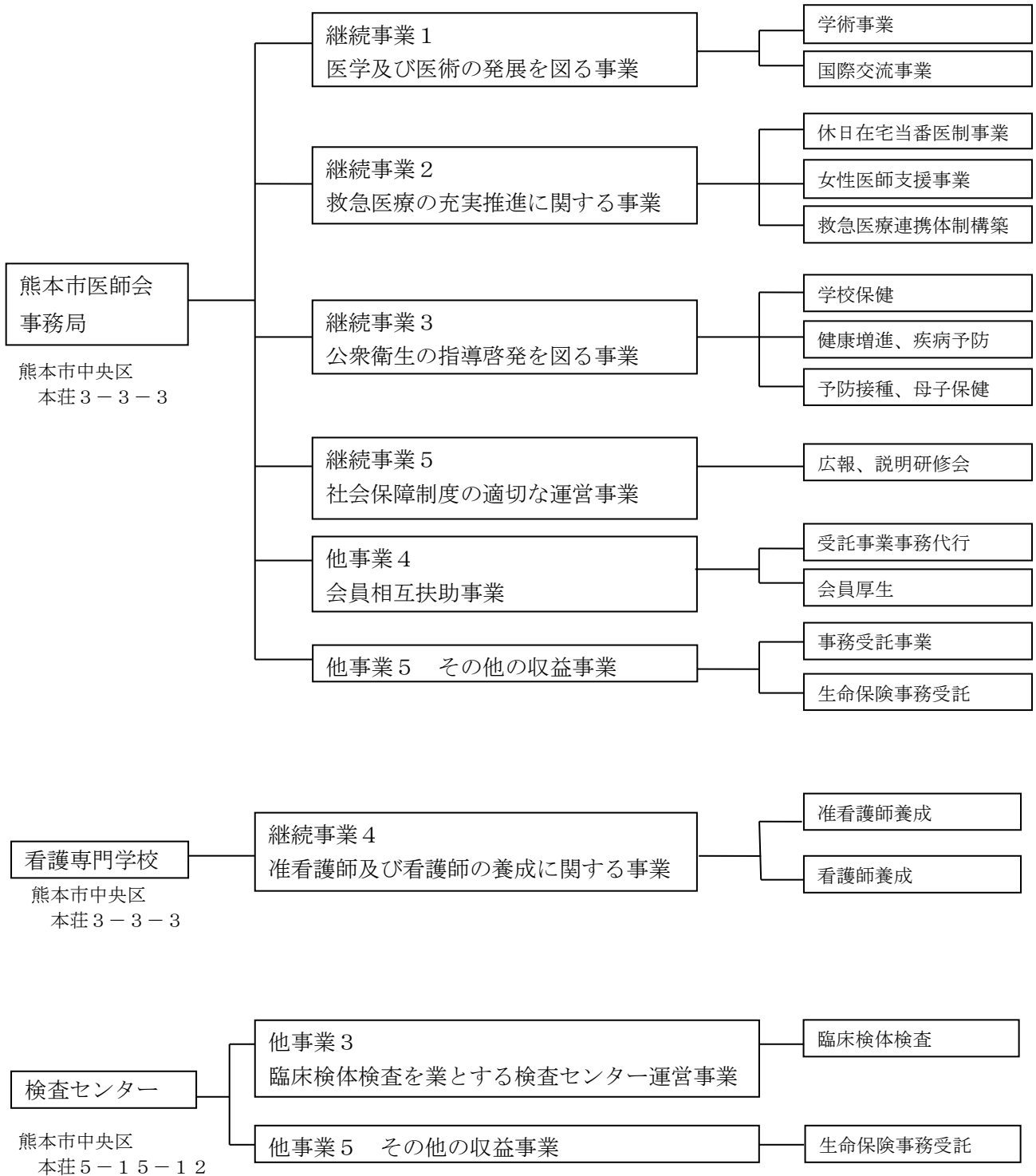
なし

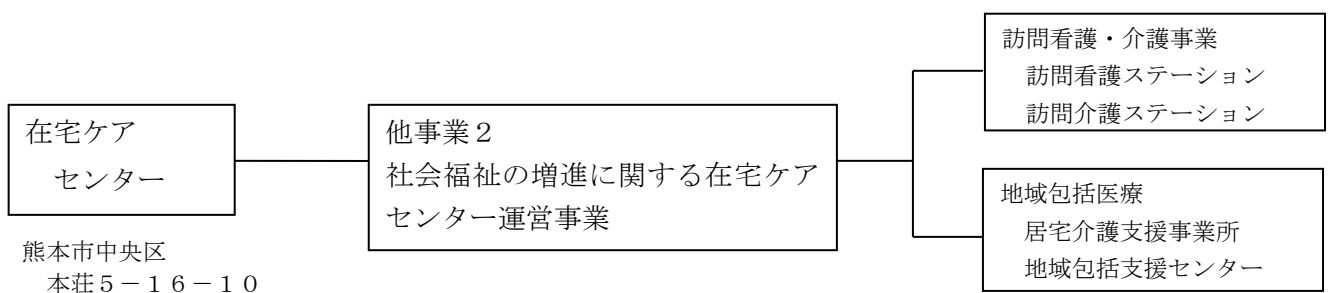
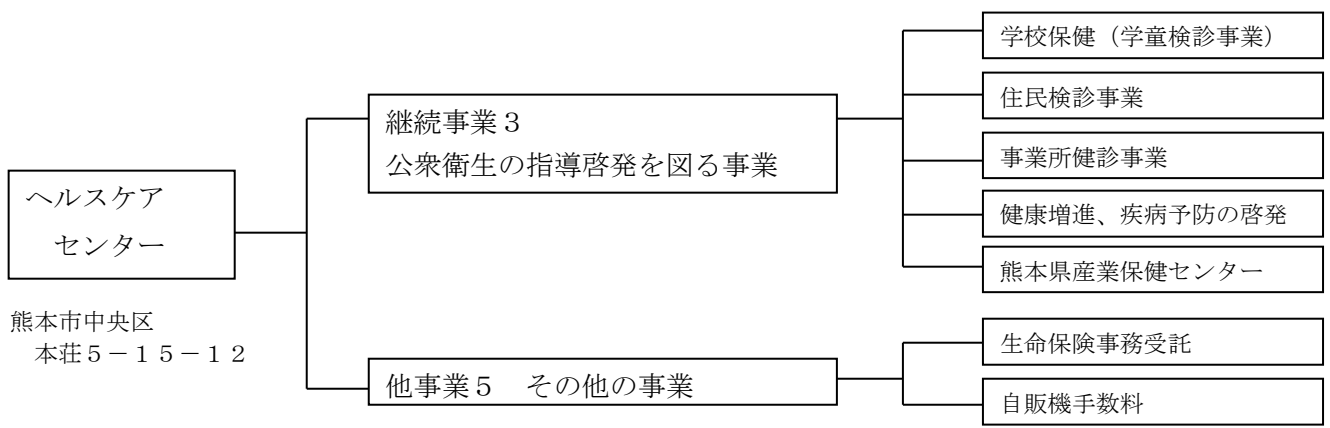
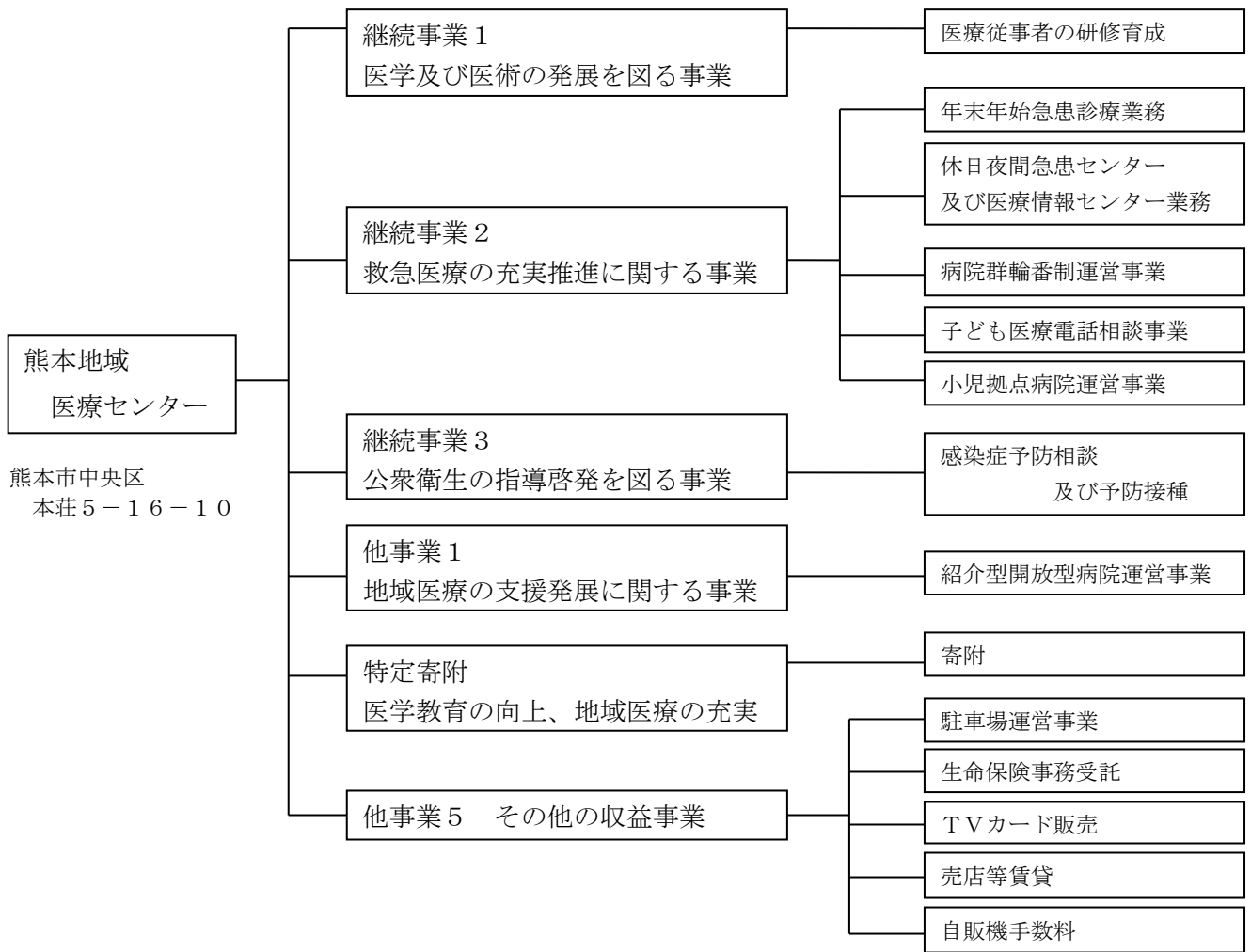
II 事業の状況

1. 事業の実施状況

本社団法人は、定款第3条の目的を達成するために努力し、定款第4条に掲げる事業を実施している。

(1) 事業・組織体系図





(2) 事業の概要

[継続事業1] 医学及び医術の発展を図る事業

日進月歩の医療において学術の振興を図り安全で質の高い医療を提供していくためには、生涯教育の推進は欠かすことのできないものであり、これを達成するために学術委員会、生涯教育委員会を設置して時宜を得た学術講演会や勉強会等を企画・開催するとともに、関係機関と協力連携のうえに各種講演会・研修会を共催している。また、熊本地域医療センターは地域医療支援病院の指定を受けているが、開設当初より医療従事者生涯教育の実習研修する場として開放し、医療従事者の指導育成に努めている。

1) 学術事業

学術委員会の開催	令和3年3月15日(月)
生涯教育委員会の開催	新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止
日医生涯教育講座の打合せ	令和2年7月13日(月)
講演会、勉強会の開催	
・学術講演会	新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止
・リフレッシュコース	新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止
・熊本地域医療センター勉強会	5回開催(9、10、1、2、3月) 出席者122名(内Web受講者48名) 4、5、6、7、11月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止
・共催後援の講演会	27回開催。そのうち当法人会館で3回を開催。
・講演会、研修会等会場の提供	次のとおり講演会、研修会等会場の利用に供した。
相手	熊本大学医学部13回、専門医会15回、医専連2回、医師会員3回 行政他4回
提供施設	講堂13回、研修室42回
提供日	平日52回、土曜日5回、日曜日7回

2) 国際交流事業(米国サンアントニオ市ベア郡医師会との交流)

- ・10月に予定していたベア郡医師会訪問団来熊は新型コロナウイルス感染拡大のため中止。

3) 医療従事者への研修育成事業

令和2年度は、次のとおり実施した。

ア 医療従事者への研修

場所 熊本市医師会熊本地域医療センター(医師会病院)

医師2名

陸上自衛隊西部方面衛生隊1名、熊本大学病院1名 専門知識や手技の向上等
看護学生等の実習

薬学部学生1名、看護学生45名、診療放射線技師専攻学生1名、救急救命士専攻
学生6名、言語聴覚士専攻学生1名

医療現場の見学、一般病棟・緩和ケア病棟の見学等

イ 指導者としての自己研鑽

第 120 回 日本外科学会定期学術集会	門脈合併切除を要した膵癌の治療成績の検討
第 120 回 日本外科学会定期学術集会 第 56 回 日本腹部救急医学会総会	下部消化管穿孔手術症例における Comorbidity-Polypharmacy score を含めた予後予測因子の検討
第 56 回 日本胆道学会学術集会 第 28 回 日本消化器関連学会週間 JDDW2020KOBE	胆道癌に対する抗癌剤治療における好中球リンパ球比 (NLR) の臨床的意義
第 58 回 日本糖尿病学会九州地方会	突発性難聴の PSL 治療中に腓骨神経麻痺 (DM 単神経障害) を発症した放置 2 型糖尿病の一例
第 85 回 日本呼吸器学会・日本結核非結核性抗酸菌症学会日本カロイト [®] -シス/肉芽腫性疾患学会	呼吸不全を合併した中枢性癌性気道狭窄患者に対するマイクロウェーブ焼灼治療の有効性
第 28 回 日本消化器関連学会週間 JDDW2020KOBE	Conversion surgery を施行した遠隔転移・局所進行を伴う膵癌症例の予後
第 61 回 日本肺癌学会学術集会	EGFR 遺伝子変異陽性、85 歳以上超高齢進行非小細胞肺癌患者家族の予後
第 75 回 日本消化器外科学会総会	80 歳以上の超高齢者における大腸悪性腫瘍における oncologic emergency の予後因子
第 33 回 日本内視鏡外科学会総会	Risk factor of Bailout procedure for acute cholecystitis

[継続事業 2] 救急医療の充実推進発展に関する事業

地域住民の生命と健康を守るため、急病者の医療の確保と重症救急患者の医療を確保することを目的に、外傷や疾病の緊急の診断と治療を必要とする患者に対して適切な診療を提供する拠点として熊本地域医療センターを開設し、24 時間初期救急医療体制の休日夜間急患センター業務と二次救急の病院群輪番制病院業務を行っている。

尚、休日夜間急患業務との併用で医療情報の電話相談も行い、更に小児救急医療体制の補強として、小児患者の症状に応じた適切な医療を提供する体制を採っている。また、地域の医師不足による救急医療や地域医療体制の崩壊を防止するため、特に女性医師の就業継続ができる環境整備に対する支援等を行っている。

1) 休日在宅当番医制事業及び年末年始急患診療業務

ア 休日在宅当番医制事業 7 4 6 施設、受診者 2 1, 4 8 3 名

イ 年末年始急患診療業務

在宅医実施医療機関 (令和 2 年 1 2 月 3 0 日午前 8 時～3 年 1 月 4 日午前 8 時まで)
6 0 施設 受診者 3, 0 5 8 名 (二次病院搬送 7 名)

熊本地域医療センター(令和 2 年 1 2 月 3 0 日午前 0 時～3 年 1 月 4 日午前 8 時まで)
6 5 1 名

2) 休日夜間急患センター事業及び医療情報センター業務

実施施設：熊本地域医療センター

(小児科)

平日午後 6 時～翌日午前 8 時、休日午前 8 時～翌日午前 8 時

(内科、外科)

平日午後6時～翌日午前8時、休日午前8時～翌日午前8時（令和2年9月30日まで）
平日午後6時～午後11時、休日午前8時～午後11時（令和2年10月1日より）
受診者：10,605名
医療情報センター取扱い件数4,578件
（市民4,539、医療機関36、救急隊3）

3) 病院群輪番制運営事業

実施施設：熊本地域医療センター
受診者：1,072名（熊本市860、市外194、県外18）
三次病院への転送23名

4) 子ども医療電話相談事業

実施施設：熊本地域医療センター、毎日 午後7時～午後11時
相談料：無料 相談件数：9,044件

5) 小児拠点病院運営事業

熊本地域医療センターは、小児救急医療の第二次救急医療施設の拠点病院として、休日夜間救急センター、在宅当番医制等の初期救急医療施設及び小児救急患者の搬送機関との円滑な連携体制のもとに、休日及び夜間における入院治療を必要とする小児の重症救急患者の医療を提供している。

6) 女性医師支援事業

女性医師が働きやすい環境の整備を以て医師不足の防止を図り医療の崩壊を回避することを目的とし、医師会館内に一時預かり保育所「メディッククラブ」を設置している。また、熊本県委託の熊本県女性医師キャリア支援センター事業の一環として、講演会等参加時の一時保育事業を行っている。

・保育所の利用者

女性医師延べ233名、児童延べ257名

・熊本県女性医師キャリア支援センターの業務及び利用者

県内の女性医師に対し、講演会及び学会等参加時の一時保育を行った。また、保育・育児等に関する相談等に対応した。

ア 無料託児利用状況

利用日数 24日、女性医師 延べ29名、児童 延べ36名

イ 広報

主催者へ講演会等開催時の無料託児所について案内し、案内状への無料託児掲載依頼を行った。

女性医師支援事業案内のチラシを作成し、熊本県内医療機関及び熊本市医師会員に案内した。

ウ 相談対応

来所相談 男性 0名

女性 1名（勤務医1名）

電話相談 男性 8名（開業医1名、その他7名）

女性 34名（勤務医30名、開業医3名、その他2名）

エ 講演会の開催

・「令和2年度熊本県医療人キャリアサポートクローバーセミナー」（共催）

令和3年2月16日 出席者40名（うち女性医師7名）

7) 救急医療連携体制の構築

救急医療懇談会 新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止

[継続事業3] 公衆衛生の指導啓発を図る事業

少子高齢化が進む中で、健康寿命の延伸を実現するには、生活習慣病の予防とともに、社会生活を営むための機能を高齢になっても可能な限り維持することが重要である。また、将来を担う次世代の健康を支えるため、小児生活習慣病や婦人科検診等の健康管理も看過できない。ヘルスケアセンターは地域自治体と連携し、健診・検診事業結果の共有を行っている。検診事業ごとに専門医からなる検診班を設置、検診の精度・確度の向上、データの一元管理、分析を行い事業の充実を目指す。データは地元の医師会員への情報提供、学会や研修会等の発表資料、あるいは地域住民に対する健康増進への意識を高める啓蒙活動等に供している。

1) 学校保健

ア 学校医の推薦

熊本市教育委員会へ22名（内科8、眼科7、耳鼻科7）を推薦

熊本県医師会へ4名（内科1、眼科0、耳鼻科3）を推薦

イ 学童検診の実施

・学校心臓検診

対象 熊本市立小学校、中学校、私立中学校、熊本市立高等学校、熊本県立高等学校、私立高等学校、支援学校のうち、小学校1年・4年、中・高校1年生および学校医・養護教諭から検査要請のあった他学年

第1次検診 令和2年6月2日～令和2年7月20日

第2次検診 6月6日～ 9月 5日

実績155校、実施数24,222名、精検受診者数564名、追跡103名

・学校腎臓検診（検尿）

対象 熊本市立幼稚園、熊本市立小・中学校、熊本市立高校・市立専門学校、私立幼稚園・保育園等

第1次検診 令和2年6月 8日～令和2年7月17日

第2次検診 6月24日～ 7月30日

第3次検診 7月30日～ 10月29日

実績146校、第1次61,318名、第2次3,422名、第3次668名

・学童結核検診

入学（進級）時調査票と学校医の内科健診の所見に基づき、ヘルスケアセンターでX線デジタル撮影と喀痰検査を実施。

実績 胸部X線 小学校12名、中学校2名の計14名

・肥満児等調査および小児生活習慣病予防検診

全市内小学校4年生で肥満度20%以上の児童を対象にして希望者に予防検診を実施。また、予防検診の有所見者へのフォローとして、保護者や養護教諭を対象に医師、栄養教諭、理学療法士による説明会（書面説明）を実施し、事後指導にも努めている。

実態調査 小・中学校合計調査数59,748名 うち20%以上6,259名

小学校 40,704名 20%以上4,220名

中学校 19,044名 20%以上2,039名

小児生活習慣病予防検診受診者数 380名 うち有所見者数162名

要指導77名、要精密検査・加療85名、異常なし215名、判定不能3名

小児生活習慣病予防検診説明会開催 新型コロナウイルス感染症拡大のため中止

（書面説明にて実施）

・脊柱側弯症検診

児童・生徒の内科健診時に、学校医が小学校5年生と中学校1年生に対して重点的に

脊柱の検診を行うとともに、ヘルスケアセンター設置の整形外科医からなる検診班より委員が選定された学校へ赴き、健診時に学校医とともに視診・触診を行う。抽出された要精密検査の児童・生徒は、専門医療機関(登録指定機関)で精密検査を受診する検診体制を採っている。

対象者 小学校5年生6,891名、中学校1年生6,456名 計13,317名

要精検者 小学校5年生 130名、中学校1年生 240名 計 370名

2次検診(精密検査)受診者数190名

精密検査結果：190名(側弯症50名、側弯症の疑い96名、その他3名、異常なし41名)

小学校5年生106名(側弯症25名、側弯症の疑い56名、その他2名、異常なし23名)

中学校1年生 84名(側弯症25名、側弯症の疑い40名、その他1名、異常なし18名)

・就学時健康診断

実施期間 令和2年10月1日～令和3年3月31日

実施者数 内科6,554名、眼科6,547名

ウ 学校教職員健康診断の実施

熊本市の小学校92校、中学校43校の教職員3,356名の健康診断を実施。

2) 住民検診

検診の意義である早期発見・早期治療を達成するために各種検診ごとに専門医からなる読影班委員会を置き、精度管理と検診のフォローに意を注ぎ、個別検診の実施医療機関は登録制による指定を行うとともに各種検診の要精密検査者の受診勧奨に努めている。

ア 特定健診・特定保健指導：個別(施設)健診

特定健診のソフトを開発して実施医療機関に提供し、健診データの一元管理を行い健診事業の円滑な実施を図っている。

健診実績35,116件

特定保健指導：初回実施292件、評価実施297件

イ 胃がん検診：検診車による巡回検診および施設内のセット検診

受診者1,057名、要精検者89名、精検受診者79名(88.7%)、がん0名(発見率0%)

胃がん検診内視鏡検査：医療機関による個別検診

受診者4,064名、要精検者310名、精検受診者252名(81.2%)、がん12名(発見率0.3%)

ウ 子宮頸がん検診：医療機関による個別検診

頸部のみ受診者11,865名、要精検者357名、精検受診者252名(70.5%)、がん3名(発見率0.03%)、がん疑い133名

エ 乳がん検診：医療機関による個別検診

受診者8,473名、要精検者785名、精検受診者563名(71.7%)、がん31名(発見率0.37%)、がん疑い4名

オ 肺がん検診：検診車による巡回検診および施設内のセット検診

受診者6,085名、要精検者91名、精検受診者82名(90.1%)、がん0名(発見率0%)、がん疑い0名

カ 大腸がん検診

検診車による巡回検診(検診地域は肺がん検診地域と同じ)と個別検診の併用で実施
令和元年度から郵送検診を実施

受診者9,027名、要精検者873名、精検受診者586名(67.1%)、がん9名(発見率0.1%、早期がん5名、進行がん4名)

3) 事業所健診

少子高齢化・人口減少が進行する中、インターネット上でデジタル化された財・サービス等が流通するデジタル経済を軸とした新しい技術革新が近年急速に進展している。それに伴う産業構造ひいては疾病構造の変化を踏まえ、労働者健康の保持増進を目的に、労働安全衛生法に基づく健康診断を実施して受診者には保健指導を行うなど労働衛生の向上に努めている。

特定健診	9事業所	17名
一般健康診断（定期、採用時）	1,797事業所	8,822名
成人病予防検診（協会けんぽ、共済、一般）	1,802事業所	8,444名
精密検診（再検）	7事業所	12名
出張健診（定期等）	98事業所	16,241名
検診車による胸部検診	128事業所	13,620名
〃 胃部検診	25事業所	1,316名
検体検査・生理機能等		8,569名

4) 健康増進、疾病予防の啓発

ア 市民への情報提供

熊本市民の疾病予防と健康の維持増進を図ることを目的に、保健衛生全般にわたる市民の意識の向上と啓発に努めている。

- ・令和2年度市民講座・医専連シンポジウム

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。

- ・広報 TV番組「医療大百科」

核家族化や高齢化社会を背景に直面する医療問題、あるいは文化生活の向上と共に健康意識の高揚が求められる中、住民の疾病予防や健康増進の意識啓発に寄与することを目的に、医療に対する基礎知識から最新医療の情報を広く住民に提供している。

TKUテレビ熊本 月曜 11:20～11:25

令和2年4月6日から令和3年3月29日まで52回放映

- ・熊本地域医療センター市民公開講座

熊本地域医療センターは、平成23年11月7日付で熊本県指定がん診療連携拠点病院に指定された。「がん」という生死にかかわる病を前にして患者や家族そして医師がどうあるべきか、がんの告知や治療等の選択など、がん診療の拠点病院としての責務により多くの人と「がん」という病を考えていくために、市民を対象とした講座を開催してがんの診療を中心とした医学及び医療について市民に広く啓蒙している。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。

イ 医療専門団体と連携した市民に対する健康意識の啓発

地域の包括医療を推進するために医療専門団体からなる熊本市保健医療専門団体連合会（以下「医専連」という。）を結成しており、医専連は、各医療専門団体相互の連携を深め、熊本市圏の地域医療のシステム化推進の母体となって地域医療の水準の向上と充実を図り、地域住民の健康と福祉を充実することを目的としている。現在、医専連は15の医療専門団体（熊本市医師会、熊本市歯科医師会、熊本市薬剤師会、熊本県助産師会、熊本県看護協会、熊本県栄養士会、熊本県放射線技師会、熊本県臨床衛生検査技師会、熊本県歯科衛生士会、熊本県理学療法士協会、熊本県作業療法士会、熊本県医療ソーシャルワーカー協会、熊本市歯科技工士会、熊本県臨床工学技士会、熊本県言語聴覚士会）からなっており、その活動は熊本市民健康フェスティバル等市民に対する健康意識の啓発など多岐にわたっている。

- ・熊本市民健康フェスティバルの開催

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。

- ・ラジオ番組「健康サロン」

住民に医師をはじめとする夫々の医療専門職に係わる医療のあり方等を理解していた

だき、疾病予防や健康増進に役立たせる企画で、医専連各団体との連携のもとに住民が関心を持っている問題や医療に関するトピックス等を話題として、ラジオで地域の医師や医専連各団体の医療専門職が解りやすく話している。

ラジオ番組：熊本シティエフエム「健康サロン」

放送：毎週水曜日午後2時から15分間、年間53回

出演団体：医師会8回、歯科医師会8回、薬剤師会8回、助産師会2回、看護協会6回、栄養士会2回、放射線技師会2回、臨床検査技師会3回、歯科衛生士会2回、理学療法士協会2回、作業療法士会2回、医療ソーシャルワーカー協会2回、歯科技工士会2回、臨床工学技士会2回、言語聴覚士会2回

5) 感染症予防の相談及び予防接種の実施

予防接種要注意者等が安心して予防接種が受けられる体制を整備して予防接種の向上と予防接種による健康被害発生の防止に万全を期すため、熊本県から委託を受けて当法人は地域医療センターで熊本県予防接種センターを開設している。県民からの予防接種の副反応や感染症予防に関する相談、あるいはハイリスク者（予防接種要注意者）、海外渡航者への予防接種等を実施している。また医療機関からの相談等にも応じており、予防接種に対する県民の不安感を取り除いている。

令和2年度接種者

ハイリスク者 340人、海外渡航者234人、その他71人、 計645人

6) 熊本県熊本地域産業保健センターの設置

熊本労働基準監督署管内の労働者数50人未満の小規模事業場の事業主や労働者を対象として、労働安全衛生法で定められた保健指導等の産業保健サービスを無料で提供している。
①健康診断結果についての医師からの意見聴取②長時間労働者や高ストレス者に対する面接指導③労働者の「こころ」と「からだ」の健康管理に関わる相談④専門スタッフによる個別指導を主な活動内容としている。また、産業保健に関する情報を整備し提供している。

対象地域：熊本市、上益城郡、下益城郡、宇土地区の4地域

実績：1. 個別訪問産業保健師指導52事業場

(熊本市25、上益城郡11、下益城郡8、宇土地区8)

2. 健康診断結果について医師からの意見聴取165事業場

(熊本市119、上益城郡22、下益城郡18、宇土地区6)

3. 長時間労働者、高ストレス者に対する面接指導16事業場

(熊本市11、上益城郡3、下益城郡1、宇土地区1)

7) 予防接種、母子保健等の充実向上

市民の健康の保持と増進を目的とする予防接種事業や母子保健事業を達成するため、熊本市と連携協力して地域住民の利便性等考慮した事業体制の構築を図り事業の円滑な実施と普及に努めている。

予防接種305,298名、乳児健診11,765名、妊婦健診63,471名、

三歳児視聴覚精密健診：眼科1,093名、耳鼻科312名、

肝炎ウイルス検査1,584名、風しん抗体検査393名

[継続事業4] 准看護師及び看護師の養成に関する事業

急速な高齢化の進展及び保健医療を取り巻く環境等の変化に伴い看護師等の確保の重要性が著しく増大している。看護師の資質を向上し、医療及び公衆衛生の普及向上を図ることが求められる中において、看護師養成における人材育成が、社会の期待に応え更に一層の発展を図るためには、看護実践能力の向上と看護職としての社会的責任並びに国民の要望に対応した看護の質の向上が不可欠であり、生命の尊厳と高い倫理観に基づいた豊かな人間性と、必要な基礎知識、技術

を教授し、保健医療福祉活動に貢献しうる質の高い看護実践者の育成につとめている。

ア 看護師養成事業

－医療専門課程－

第1看護学科 修業年限3年、1学年定員70名（総定員150名）

- ・第10回生入学式 令和2年 4月 3日
 新生76名（うち男性5名）
 〔受験者134名（14）、合格者79名（4）、競争率1.7〕
 - ・1年生 歓迎会 令和2年 4月 6日
 - ・第9回宣誓式 令和3年 1月 8日（2年生41名）
 - ・入学試験
 高校推薦・社会人・指定校推薦（第11回生）入学試験 令和2年11月 1日
 一般（第11回生）入学試験（前期） 令和2年11月29日
 一般（第11回生）入学試験（後期） 令和3年 2月28日
 - ・第8回生卒業式（卒業証書授与43名） 令和3年 3月 3日
- 第2看護学科 修業年限3年、1学年定員40名（総定員120名）
- ・第46回生入学式 令和2年 4月 3日
 新生40名（うち男性6名）（受験者59名、合格者43名、競争率1.4）
 - ・入学試験
 推薦（第47回生）入学試験 令和2年10月11日
 一般（第47回生）入学試験 令和2年11月22日
 - ・第44回生卒業式（卒業証書授与42名） 令和3年 3月 3日
 - ・第110回看護師国家試験（熊本市） 令和3年 2月14日
 第1看護学科 第8回生43名受験 全員合格 合格率100%（全国90.4%）
 第2看護学科 第44回生42名受験 全員合格 合格率100%（全国90.4%）

イ 准看護師養成事業

－医療高等課程－

准看護科 修業年限2年、1学年定員80名（総定員200名）

- ・第68回生入学式 令和2年 4月 3日
 新生66名（うち男性16名）（受験者80名、合格者72名）
- ・入学試験
 推薦・社会人（第69回生）入学試験 令和2年10月25日
 一般（第69回生）入学試験 令和2年12月 6日
 第二回一般（第69回生）入学試験 令和3年 1月24日
 第三回一般（第69回生）入学試験 令和3年 2月13日
 第四回一般（第69回生）入学試験 令和3年 3月 7日
- ・戴帽式（第68回生） 令和2年11月11日（1年生56名）
- ・2年生卒業記念講演会
 期 日 令和3年2月25日
 テーマ 「看護の専門性の発揮とチーム医療の推進」
- ・第67回生卒業式（卒業証書授与73名） 令和3年 3月 3日
- ・熊本県准看護師資格試験 令和3年 2月16日
 合格発表 令和3年 3月11日
 准看護科 第67回生73名受験 全員合格 合格率100%

ウ その他3学科合同行事

- ・学校説明会（高校の先生方への説明会） 令和2年 7月28日

[継続事業5] 社会保障制度の適切な運営事業

国民の健康で文化的な生活を目的とする社会保障制度は、行政のみならずその実践に深く係わる者の周知や理解なくしては成り立たない。制度のなかで大きなウエイトを占めるのが医療関連制度であり、行政と連携協力のうえに社会保障制度の円滑かつ適正な運営を図ることを目的に制度の説明会等を実施している。

・行政通知等の広報（単独通知分）

熊本県より 「熊本県医療勤務環境改善支援センターのご案内」他1件通知

熊本市より 「熊本市国民健康保険適正服薬等推進事業の実施に係る協力依頼」他3件通知

九州厚生局より 「酸素の購入価格に関する届出について」通知

・各種説明会等の実施

ア 予防接種説明会 熊本市と共催 令和2年8月18日(火)

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止

イ 麻薬等取扱者講習会 令和2年9月30日(水)

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止

ウ 熊本市診療検査医療機関説明会（ハイブリッド開催）

令和2年10月3日(土)2回、5日(月)、6日(火) 計4回開催

出席者210名 オンライン接続数910

エ インフルエンザ流行期における患者対応説明会（ハイブリッド開催）

令和2年10月31日(土)2回開催 出席者264名 オンライン接続数990

オ 「新型コロナウイルスワクチン接種体制（一般向け）の確保」に係る説明会（ハイブリッド開催）

令和3年1月30日(土)2回開催 出席者161名 オンライン接続数1654

カ 新型コロナウイルス感染症の接種実施に係る医療従事者に対する先行接種・優先接種実施医療機関及び医師会担当者向け説明会（ハイブリッド開催）

令和3年2月20日(土)開催 出席者127名 オンライン接続数1635

[特定寄附] 医学教育の向上及び地域医療の充実に資するための寄附

医学教育の向上及び地域医療の充実に資するために、熊本大学医学部への寄附を実施。

[他事業1] 地域医療の支援、発展に関する紹介型開放型病院の運営事業

地域の医療機関からの重症患者を受入れ、必要な医療を提供した後、元の医療機関に戻すことによる医療機関相互の機能分担と連携を可能なものとし、地域医療全体の質を向上させるために、地域医療の中核となる熊本地域医療センターを、地域のかかりつけの医師、医療機関（特に診療所）の後方支援病院として開設した。熊本地域医療センターは地域の医師に開放された病院であり、地域の診療所で治療が難しい患者に対し、診療所からの紹介によって治療を行うことを主業務とする病院で、地域の医師が患者に良質の医療を行うための基盤となっており、当法人が地域医療のネットワークを形成するために開設している臨床検査センターやヘルスケアセンター（健診施設）、在宅ケアセンター（訪問看護・介護）とともにあって地域医療の質を向上させている。

入院患者数 4,697名、入院延日数51,370日、在院日数月平均9.8日

紹介率：月平均94.8%

手術数 741件 うち153件が緊急手術、会員執刀63件

共同指導件数 173件、共同指導回数 353回

外来患者数 42,594名（平日日勤帯外来患者数31,989名、休日夜間帯外来患者数10,605名）

各種検査 内視鏡検査5,179件（治療内視鏡1,045件）、MRI検査3,770件、CT検査8,019件、超音波5,705件、心カテ36件

[他事業2] 社会福祉の増進に関する在宅ケアセンター運営事業

高齢化社会の到来で、在宅医療の充実とともに保健福祉の向上は避けては通れないものであり、地域における包括医療提供体制を構築して社会福祉の増進、特に高齢者の福祉の増進を図ることを目的として在宅ケアセンターを開設し、次の事業を行っている。

1) 訪問看護ステーション

病気や障害をもって在宅医療する方に対して、専門的知識、技術、判断をもって病気や障害の改善に努め、より良い状態で安全に充実した生活が送れるようあらゆる在宅療養支援することを目的としている。

医療機関からの指示を受け576名に訪問看護を行った。

医療保険利用者121名、介護保険利用者455名

医療保険による訪問回数1,288回、介護保険での訪問回数2,081回

計3,369回

2) 訪問介護ステーション

利用者の自立支援として身体介護サービス、家事援助サービス、生活・身上・介護に関する相談助言等を行っている。

871名に対し、6,321回の訪問介護を行った。

介護サービス利用者368名、介護予防サービス利用者496名、その他利用者7名

訪問回数内訳：総合事業2,210回、生活援助3,182回、身体介護387回、

身体・生活455回、その他87回

3) 居宅介護支援事業所

介護保険に関する各種申請代行、ケアプラン作成、サービス事業所の紹介・調整やその他介護保険に関する相談を行っている。

令和2年度 要介護1以上のケアプラン作成対象者 延べ1,101名

介護予防給付対象者である要支援者 延べ 46名

4) 地域包括支援センター

地域での高齢者の包括ケアを機能させるため、保健師、ケアマネージャー、社会福祉士を配置し、地域での各種サービスや地域ネットワークの構築などを柱に個別サービスのコーディネートを行っている。

令和2年度 ケアプラン作成者 延べ4,283名、相談件数2,888件

家族介護教室 開催無し

[他事業3] 臨床検体検査運営事業

1) 検査センター

臨床検体検査は、診断・治療の用に供する診療の根幹をなすものであり、精度の高い正確な検査データを迅速に供給することが求められ、また、迅速検査は、患者中心の医療や患者サービスの向上が言われる今日、患者にも大きな恩恵がある。これら地域の医師の負託に応え、地域の医療の水準を高めて地域医療の質を向上させることを目的として検査センターを開設し、地域の医療機関からの依頼による臨床検体検査を実施している。

取扱検体数 年間 1,545,836検体 検査項目数 年間 7,554,816項目

2) PCRセンター

市からの委託を受け、新型コロナウイルス感染症検査施設として設置運用を行っている。

令和2年7月6日～令和3年3月31日

検査数4,522名、陽性数423名、陰性数4,097名、判定不能2名

[他事業4] 会員相互扶助事業

1) 代行業務

地域住民の健康の保持と増進を目的とする公衆衛生事業等の事務処理を効率的、効果的に行うため、熊本市と熊本市医師会で委託契約している予防接種及び健診について、実施登録医療機関から提出された報告書・予診票及び受診券すべてを取り纏めて、市への実施医療機関の請求や市からの実施医療機関への料金支払いの対応等を一括代行している。

- 2) 会員所属地区部への補助金、同好会への補助金等
ア 熊本市医師会は、東1、東2、中、西、南、北1、北2部の地区部と勤務医部の8部に区分し、会務の連絡を図るため、会員数に応じて補助金を助成している。
イ 熊本市医師会では、会員3名以上で結成される同好グループで規定を満たすものを趣味同好会として認可し、補助金を助成している。
剣道部、登ろう会、肥後狂句(杏風会)、ゴルフ会、ワイン同好会、古典音楽同好会
- 3) 熊本市受診案内センター
市からの委託事業として、発熱患者からの電話相談を受け、受診可能な診療・検査医療機関の案内を行う。
令和2年11月19日(木)～令和3年3月31日(水) 受電件数2,304件

[他事業5] その他の収益事業

- 1) 事務受託事業
本会外郭団体への一部業務支援
- 2) 生命保険事務受託事業
- 3) 駐車場運営事業
- 4) テレビカード販売手数料
- 5) 医師会病院の売店・レストランの賃借料
- 6) 自動販売機設置手数料

2. 重要な契約に関する事項
なし

3. 役員会等に関する事項

(1) 理事会

毎月原則第2、第4水曜日(5月は決算の関係で第3・第5水曜、3月は予算の関係で第1・第4水曜)に午後7時から熊本市医師会館会議室他で24回開催。

各理事が担当業務・事業状況を報告し、当法人への入会等重要な案件は担当理事の提案に基づき協議・決定している。尚、検討時間を要する内容のものについては、理事会の企画検討事項として採り上げ協議している。

・主な企画検討事項

- ①病院建設について
- ②Slackの利用について

(2) 代議員会

・第21回臨時代議員会(通算第268回)

日時 令和2年4月3日(金)午後7時

場所 熊本市医師会館 2階講堂

提出議案

- ①令和2年度一般社団法人熊本市医師会会費免除申請に関し承認を求むるの件
- ②令和2年度一般社団法人熊本市医師会会費の賦課及び徴収に関し承認を求むるの件
- ③一般社団法人熊本市医師会役員等選挙規定の一部改定に関し承認を求むるの件

※以上提出議案は、審議の結果原案通り承認された。

選挙

- ①熊本市医師会会長 1名
- ②熊本市医師会副会長 3名
- ③熊本市医師会理事 16名
- ④熊本市医師会監事 3名
- ⑤熊本市医師会裁定委員 7名
- ⑥熊本県医師会代議員 8名
- ⑦熊本県医師会予備代議員 10名

※上記のとおり役員候補者が選任された。

- ・第22回定例代議員会（通算第269回）
 - 日時 令和2年6月19日（金）午後7時
 - 場所 熊本市医師会館 2階講堂
 - 報告
 - ①令和元年度一般社団法人熊本市医師会事業報告
 - ②令和2年度一般社団法人熊本市医師会事業計画及び予算提出議案
 - ①一般社団法人熊本市医師会令和元年度財務諸表に関し承認を求むるの件
 - ②一般社団法人熊本市医師会理事及び監事の選任に関する件
 - ③一般社団法人熊本市医師会会長及び副会長の選定に関する件
 - ④一般社団法人熊本市医師会裁定委員7名の選任に関する件
 - ⑤一般社団法人熊本市医師会顧問の推戴に関する件
 - ⑥一般社団法人熊本市医師会定款改正委員（8名）、予算委員（16名）、災害基金委員（7名）、建設委員（8名）、政令都市医師会検討委員（8名）の選出に関する件
 - ※以上提出議案は、審議の結果原案通り承認された。
 - その他
 - ①熊本市医師会PCRセンターについて
- ・第23回臨時代議員会（通算第270回）
 - 日時 令和2年9月4日（金）午後7時
 - 場所 熊本市医師会館 2階講堂
 - 報告
 - ①令和2年7月豪雨の被害及び熊本JMAT派遣について
 - ②熊本市医師会PCRセンターについて
 - 提出議案
 - ①一般社団法人熊本市医師会役員（富合・城南部理事）の選任に関する件
 - ②令和2年度熊本市医師会費減額に関し承認を求むるの件
 - ※以上提出議案は、審議の結果原案通り承認された。

(3) 会員懇談会

日時 令和2年8月22日（土）午後5時30分
 場所 ホテル日航熊本
 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止

(4) 会計監査

令和2年6月4日、5日の両日、令和元年度の会務及び会計について監事3名から監査を受けた。

4. 収支及び正味財産の状況推移

単位：百万円

事業年度	R元年3月期	R2年3月期	R3年3月期
前期繰越収支差額	3,662	4,247	4,472
当期収入合計	8,223	7,885	8,309
当期支出合計	7,638	7,660	7,965
当期収支差額	585	225	344
次期繰越収支差額	4,247	4,472	4,816
資産合計	12,704	12,659	13,669
負債合計	3,684	3,411	3,705
正味財産	9,020	9,247	9,964

Ⅲ. 株式保有の概要

熊本シティエフエム株式 90万円
 熊本県医師信用組合 5万円